

## 第 26 回 史料保存利用問題シンポジウム

### 東日本大震災 10 年と史料保存—その取組と未来への継承—

日時：2021 年 6 月 26 日(土) 13:30～17:30

オンライン開催〈参加費無料／先着順受付〉

参加登録用ウェブサイト <https://forms.gle/EieasBhbUBme6YFL6>



開会挨拶：若尾政希（日本学術会議会員／一橋大学教授）

#### 報 告

佐藤 大介（東北大学災害科学国際研究所准教授）

被災史料・被災地と向き合い続けて考えたこと  
—宮城での活動の経験から—

大和田侑希（福島県富岡町住民課係長）

歴史資料保存・活用に関する行政職員が担うべき役割と可能性

阿部 浩一（福島大学教授）

ふくしまの資料保全活動の 10 年を未来につなげる

#### 特別報告

伊藤 一晴（国立公文書館上席公文書専門官）

令和 2 年度アーキビスト認証の実施結果と令和 3 年度の取組について

コメント 芳賀 満（日本学術会議会員／東北大学教授）

佐々木和子（神戸大学大学院人文学研究科学術研究員）

#### パネルディスカッション

パネリスト：佐藤大介／大和田侑希／阿部浩一

司会：大友 一雄（日本学術会議連携会員／国文学研究資料館教授）  
熊本 史雄（駒澤大学教授）

閉会挨拶：中野達哉（日本歴史学協会委員長／駒澤大学教授）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

日本学術会議史学委員会歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会